

視察・調査活動 実施計画書 政務活動費 《事前》審査書				整理番号	0613001-1		
				会派名	富山市議会自由民主党		
				議員名	横野 昭		
■	調 査 研 究 費	会 派 承 認 欄					
□	研 修 費	起 案 日	代 表 者	経 理 責 任 者	申 請 者 (議 員)		
□	広 報 広 聴 費	R6.4.22					
□	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	承 認 日					
□	会 議 費	R 6 . 4 . 2 2					
□	資 料 作 成 費	特 記 事 項					
□	資 料 購 入 費	鋪田博紀 0615001 横野 昭 0613001 成田光雄 0612002 松井邦人 0606002 豊岡達郎 0605002 田辺裕三 0604001					
□	人 件 費						
□	事 務 費						
	項 目	内 容				留 意 点	
1	実施者	田辺裕三、豊岡達郎、松井邦人、成田光雄、横野昭、鋪田博紀(以上6名)					
2	実施日程	令和6年5月7日(火)～8日(水)					
3	行程	行程表の通り ※別途添付				政務活動のための合理的な経路か。政務活動以外の行程が含まれていないか。宿泊が必要か。	
4	視察 1	視察・調査先	潮来市			目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。	
		視察・調査先 面談予定者	潮来市役所(潮来市社626 0299-63-1111) 担当 未定				
		視察・調査の 目的、内容	【内容】液状化対策について先進事例を学ぶ 【目的】液状化対策の実施に向け、先行事例を学び反映させていく				
	視察 2	視察・調査先	千代田区				
		視察・調査先 面談予定者	参議院議員会館(千代田区永田町2-1-1 03-3581-3111) 担当 吉田信博【大臣官房参事官(宅地・盛土担当)】				
		視察・調査の 目的、内容	【内容】液状化対策について先進事例を学ぶ 【目的】液状化対策の実施に向け、先行事例を学び反映させていく				
	視察 3	視察・調査先					
		視察・調査先 面談予定者					
		視察・調査の 目的、内容					
5	実施経費 及び 政務活動費の 支出予定額 (振込手数料含まない)	交通費	29,720円			対象費用及び単価見積りが適切か。政務活動費充当方法は適切か。按分率適用の分母は適切か。(混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)	
		日当	3,000円/日×2日				
		宿泊費	11,500円				
		その他					
		合計額		47,220円			
		按分率(充当率)		100% ・ 50%			
		支出額(合計額×按分率)		47,220円			
6	取引規定	■抵触なし				取引制限の確認	

R0613001

御 旅 程 表

JAなのほな 生活課 観光事業

富山市豊田本町3-18-21

TEL 076-438-2214

FAX 076-438-3670

令和6年4月18日

担当

富山市議会自由民主党 横野 昭			様	旅行先		潮来・東京 行政視察							
旅行日			令和6年5月7日 令和6年5月8日		人数	大人		小人	計	1泊 2日		車船中泊	
						男	女					旅館 1泊	
日程	月日	曜日	行程表										
1	5月7日	火	7:22 9:32 10:00 富山駅===かがやき502号===東京駅・・・徒歩5分・・・東京駅===高速バス=== 11:20 13:30～ 15:30 15:55 ===水郷潮来ターミナルビル===潮来市役所(視察)===水郷潮来ターミナル 17:35 ===高速バス===東京駅・・・徒歩7分・・・ホテル TEL 03-3241-0202 チェックイン15:00 チェックアウト10:00 *京王プレッソイン大手町(1泊朝食 シングル 禁煙)										
2	5月8日	水	9:30～11:00 ホテル===参議院会館(視察)===東京駅 13:24 15:54 東京駅===はくたか565号===富山駅 *東京駅～水郷潮来ターミナルビル・・・予約制ではなく先着順との事です										

概 算 費 用 御 見 積 り				(責任人数 6名)	
J	R	富山駅~東京駅 往復	25,520	宿泊料金	1泊朝食サ税込
高 速 バ ス		東京駅~潮来バスターミナル 往復	4,200	食事費	
				宴会費	
定期観光バス代					
高速有料道路代					
有料駐車代				寸志・その他	
バス航送代				添乗経費	
乗 船 券				乗務員昼食	
入 場 入 拝 料				お一人様費用計	41,220

コースの見方

バス

車

JR

私鉄

飛行機

フェリー

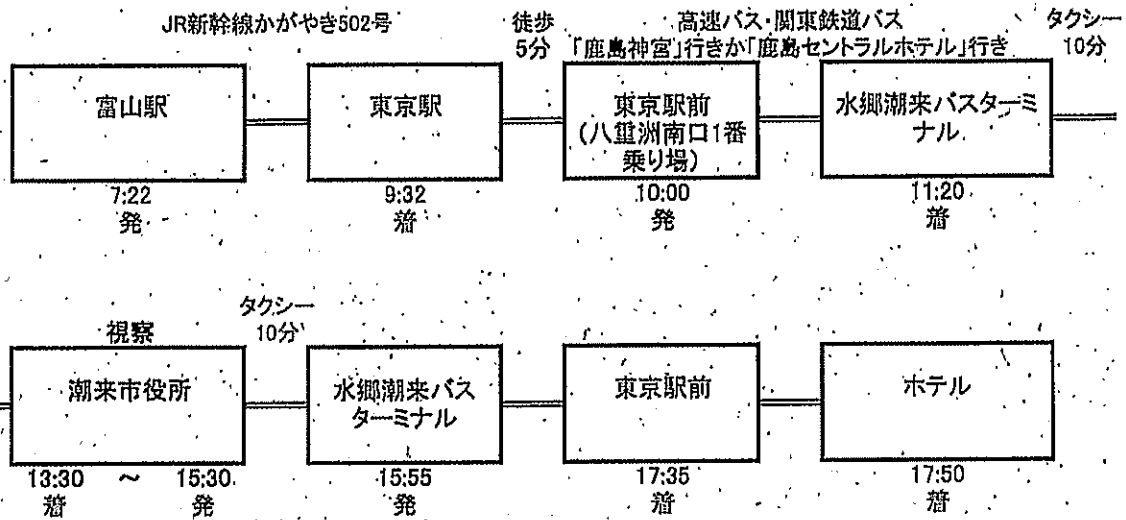
タクシー

徒歩

富山市議会 自由民主党 視察行程表

日程 令和 6 年 5 月 7 日(火) ～ 8 日(水)

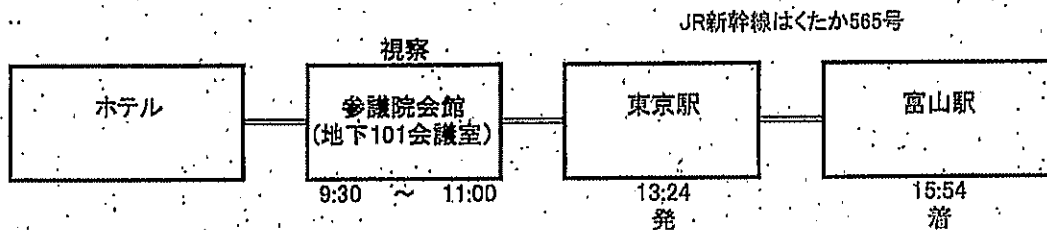
5月7日
(火)



【視察項目】
液状化対策について

【宿泊ホテル】
京王プレッソイン大手町

5月8日
(水)



【視察項目】
液状化対策について
講師:大臣官房参事官(宅地・盛土担当) 吉田 信博

視察・調査活動 実績報告書 政務活動費【事後】審査書 兼 支出伝票				整理番号	0613001-2	
				会派名	富山市議会自由民主党	
				議員名	横野 昭	
■	調 査 研 究 費	起 案 日		会 派 承 認 欄		
□	研 修 費	R6.5.28		代表者	経理責任者	申請者(議員)
□	広 報 広 聴 費	承 認 日				
□	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	R 6. 5. 3 0				
□	会 議 費	支払件数	/	支払日(口座振込完了日)		R 6. 5. 3 0
□	資 料 作 成 費	起 案 日		支 払 完 了 報 告		
□	資 料 購 入 費	R 6. 5. 3 0		代表者	経理責任者	申請者(議員)
□	人 件 費	承 認 日				
□	事 務 費	R 6. 5. 3 1				
特 記 事 項						
鋪田博紀 0615001 横野 昭 0613001 成田光雄 0612002 松井邦人 0606002 豊岡達郎 0605002 田辺裕三 0604001						
項 目		内 容				留意点
1	実施者	富山市議会自由民主党会派 横野議員				
2	実施日程	令和6年5月7日(火)～8日(水)				政務活動のための合理的な経路か。 政務活動以外の行程が含まれていないか。 宿泊が必要か。
3	行程	別紙の通り				
4	視察 1	視察・調査先	潮来市役所			目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
		視察・調査先 面談予定者	潮来市役所: 峰松剛志、石山洵			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】液状化対策について先進事例を学ぶ 【目的】液状化対策の実施に向け、先行事例を学び反映させていく			
	視察 2	視察・調査先	参議院議員会館101会議室			
		視察・調査先 面談予定者	国土交通省: 吉田信博			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】液状化対策について先進事例を学ぶ 【目的】液状化対策の実施に向け、先行事例を学び反映させていく			
	視察 3	視察・調査先				
		視察・調査先 面談予定者				
		視察・調査の 目的、内容				

項 目	内 容	留意点
5 視察・調査活動の内容	(視察1) 潮来市内で液状化現象が起きた、日の出地区について説明を受けた。地区の特徴として、遠浅の海を干拓し宅地造成された場所で、自然地層と人工地層との境界があり地区外へ水を通しにくい上に、地区外の地下水位に比べ高い位置に地下水位があるという特徴があった。 平成23年3月11日に発生した東日本大震災後、地質や地震分野等の専門家及び地元住民で構成する潮来市液状化対策検討委員会を平成24年2月に設置し、改めて地層や地下水の水位を調査し、地下水位低下工法による現場実験や実証実験の結果、地盤沈下や模範住宅の傾き調査を行いこの方法が最適と判断し、地下水位低下工法の採用を提言した。この提言を踏まえ地権者等への事業説明会を11回開催し、地権者の2/3以上の同意を得て復興庁へ液状化対策事業計画を提出した。その計画は受理され、全国初となる復興交付金を活用した液状化対策事業に着手することとなった。 日の出地区全体の状況から、幹線道路の地下部にボックスカルバートを据付その左右に地下水排水管を施工する方法と、車道部及び歩道部の地下部に地下水排水管を設置する方法を採用した。このことにより、地域の雨水排水にも効果があり、道路の冠水も防ぐ効果があった。しかしながら、排水のための調整池について、自然流下でなく排水ポンプによる排水が必要であり、維持管理費や電気代が必要である。 上下水道の管の布設替えも実施し、耐震性を生かした管路の布設も行った。 (視察2) 液状化現象が発生する条件として①均一な緩い砂層があること、②地下水位が高いことの2つがあげられる。この2つが揃っている状況下で、震度5強以上の地震かつ長い揺れが続くと液状化しやすい。 宅地の再度液状化防止工法としては、地表から3mまでの地層を改良する方法と地下水位を3m低下させる方法があるが、建屋がある場合とない場合では費用が異なる。また、施工エリアが狭い場合と広い場合でも費用が異なるので、どの工法を選択するか地元住民との合意形成に時間がかかると言われた。 全国の液状化の対応について、水位低下方法が大勢を占めているが、格子状地中壁工法もわずかにありました。費用面では水位低下工法のほうが少し安い。 能登半島地震による安全確保支援について、関連する事業を連携し、総合的に取り組むことで、エリア一体となって、道路、宅地、住宅の安全確保を推進すると説明を受けた。事業主体が地方公共団体・宅地所有者(間接補助)により事業費用の一部を補助できる。富山市としてどの工法を選択するのか考える必要がある。まずは市道の宅地液状化防止事業エリアを決定し、その後に効果促進事業として住宅エリアを決定する流れがいいのではないかと説明を受けた。	目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、会派内での報告・情報共有等の対応等。 政務活動のみの内容か。 政務活動以外の政党活動、選挙活動、後援会活動等とみなされる表現、構成になっていないか。
市政への影響、反映、成果等	今回液状化の視察において、地域全体として取り組むのか、個々の住宅の液状化という観点からすると補助の難しさがあると感じた。潮来市の状況を見て、エリア一体的な取り組みが必要と感じた。富山市の場合、連町地区一帯で果たしているのか、地質調査と地下水位の調査の必要性和調査結果に基づく影響調査も必要であり、3年から4年をめどに復旧工事がかかると思います。潮来市のように常日頃から大きめの雨が降ると道路の排水機能がうまくいかないくらいに河川等の水が高いところでは、今回の調整池に水をためて、排水ポンプによる強制排水により、今までよりも浸水被害が軽減できることと液状化の防止を兼ねたことは、良かったと思いました。富山市も、浸水被害との関連や液状化の起きやすい地域を検討する必要性、市民に知らせる努力も今後の検討課題だと思います。	政務活動費を支出できる内容か。(全額、1/2、支出不可)
その他及び政務活動以外で取り扱った内容		

項 目		内 容		留意点	
実施経費 及び 政務活動費支出額	旅費	支出金額	41,220円	支出方法 ☐ 債権者口座 ☒ 議員口座 (立替)	対象費用及び単価見積が適切か。 按分率適用の分母は適切か。 政務活動費充当方法は適切か。 (混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)
		支出先	横野議員【立替え支払い先】なのはな農協		
		支出内容及び積算根拠	JR代 25,520円(富山駅-東京駅:往復) バス代 4,200円(東京駅-潮来バスターミナル:往復) 宿泊費 11,500円 別紙領収書のとおり		
	日当	支出金額	6,000円	支出方法 ☐ 債権者口座 ☒ 議員口座 (立替)	
		支出先	横野議員		
		支出内容及び積算根拠	5月7日(火)~8日(水) 2日 3,000円/日×2日		
		支出金額		支出方法 ☐ 債権者口座 ☐ 議員口座 (立替)	
		支出先			
		支出内容及び積算根拠			
		支出金額		支出方法 ☐ 債権者口座 ☐ 議員口座 (立替)	
		支出先			
		支出内容及び積算根拠			
取引規定		☒ 抵触なし			
経費総額		47,220円	按分率 (充当率)	100%・50%	
按分率適用対象経費 及び 按分理由					
政務活動費 支出(充当)額		47,220円			

請求書

0613001

令和6年4月26日

請求書NO. 1201

富山市議会 自由民主党 横野 昭 様

富山県知事登録第2201号

なのはな農業協同組合

生活課 観光事業

登録番号 T2-2300-0500-0474

〒931-8540

富山市豊田本町3-18-21

TEL076-438-2214

FAX076-438-3670

責任者印

担当者印

ご請求金額

41,220 円

旅行日

令和6年
5月7日～8日

ご精算予定日

令和6年5月2日

軽減他

種別・摘要

人員・数量

単価

金額

5/7 富山駅～東京駅 JR普通指定席

1

25,520

25,520

5/7 東京駅～水郷潮来 高速バス

1

4,200

4,200

5/7 京王プレッソイン 1泊朝食税込 シングル

1

11,500

11,500

消費税10%対象 小計

41,220

内消費税

3,747

消費税 8%対象 小計

内消費税

合計金額

41,220

軽減の欄に※は軽減税率対象商品です。非は非課税商品です

振込先

取引銀行 なのはな農業協同組合 西部支店

口座名 JAなのはな旅行センター 普通口座 6000116

恐れ入りますが振り込み手数料は、お客様負担でお願いします。

貼付用紙

No. 252522

領 収 書

富山県会

自由民主党

横野 昭 様

令和 6 年 4 月 30 日

	千	百	拾	万	千	百	拾	円
2			4	1	2	2	0	

但三朝果行三夕品費・宿泊代として

上記正に領収いたしました



なののはな農業協同組合

〈ご注意〉組合の領収年月日および取扱者印のないものは無効です。また、訂正した用台、訂正印のないものは無効です。
領収いたしました小切手・手形等が万一決済されなかったときは、本書と引換えに小切手・手形等をお返しいたします。

収入印紙

取扱者印



振 替 証 明 書

会派名 富山市議会自由民主党

金 額	47,220	円
-----	--------	---

上記金額を次の者の口座へ振替したことを証明します。

令和6年5月30日

経理責任者

豊岡 達郎



氏 名	横野 昭	受領印	
-----	------	-----	--



№0613001

年月日	摘要	お支払い金額 (円)	お預かり金額 (円)	差し引き残高 (円)
1 06-04-30*		*3,380	普通預金 豊岡議員	*22,494,588
2 06-05-01	振込資金	*55,466	コピーカウント代	*22,439,122
3 06-05-01*		*3,380	普通預金 高田真里議員	*22,435,742
4 06-05-02		*3,380	トマシフン	*22,432,362
5 06-05-02		*3,900	トマシフン	*22,428,462
6 06-05-09*		*3,380	普通預金 高原議員	*22,425,082
7 06-05-09	振込資金	*2,165	インターネット代	*22,422,917
8 06-05-09*		*8,998	コピー用紙代	*22,413,919
9 06-05-14*	令和5年度 電話料	*16,652,609	政務活動費返還金	*5,761,310
10 06-05-15		*2,988	0764316101	*5,758,322
11 06-05-16*		*47,220	普通預金 松井議員	*5,711,102
12 06-05-20*		*3,380	普通預金 成田議員	*5,707,722

13 06-05-20*		*23,835	タブレット端末通信料	*5,683,887
14 06-05-21*		*47,220	普通預金 成田議員	*5,636,667
15 06-05-21	振込資金	*2,376	トヨックスホールディングス	*5,634,291
16 06-05-22		*39,710	キョウトウシステム	*5,594,581
17 06-05-23		*8,200	SMBC(シブフン)YC	*5,586,381
18 06-05-27		*12,100	タ"イチ"外	*5,574,281
19 06-05-27*		*320,000	給料	*5,254,281
20 06-05-30*		*47,220	普通預金 横野議員	*5,207,061
21 06-05-30*		*47,220	普通預金 豊岡議員	*5,159,841
22 06-05-30*		*3,380	普通預金 豊岡議員	*5,156,461
23 06-05-30*		*56,670	普通預金 飯山議員	*5,099,791
24 06-05-30	振込資金	*32,837	コピーカウント代	*5,066,954

(お知らせ)
1. 通帳の記載のあるお取引のときは年月日順に*と表示します。
2. 経費領をお預り入れのときは、お支払い金額順に次のとおり表示します。
クレジット 03-00
トクター 02-00

お支払いできる日
お支払いできる額は、所定の
不超過の範囲内となります。

4

普通預金通帳

店番号

富山市議会自由民主党様

北陸銀行



潮来市

建設部
都市建設課
課長補佐

峰 松 剛 志

〒311-2493 茨城県潮来市辻 826
TEL 0299-63-1111(代)
FAX 0299-62-4222
E-mail: toshikei@city.itako.lg.jp
URL: https://www.city.itako.lg.jp



市公式HP

この名刺は再生紙を使用しています



潮来市

建設部 都市建設課
都市計画グループ
係 長

石 山 洵

〒311-2493 茨城県潮来市辻 826
TEL 0299-63-1111(代)
FAX 0299-62-4222
E-mail: toshikei@city.itako.lg.jp



市公式HP



ふるさと納税

この名刺は再生紙を使用しています



国土交通省

大臣官房参事官

(宅地・盛土防災担当)

吉田 信博

YOSHIDA Nobuhiro

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3

Tel: 03-5253-8111 (内線 32-401)

: 03-5253-8401 (直通)

Fax: 03-5253-1587

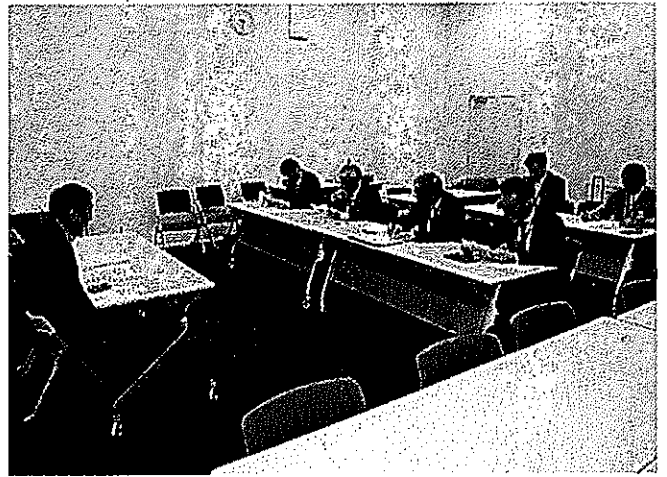
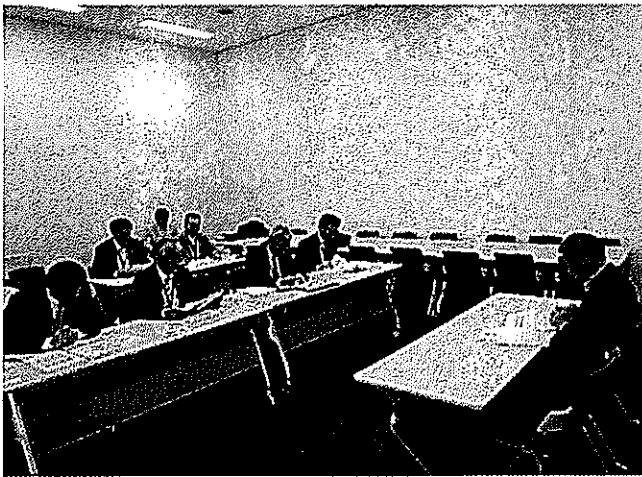
E-mail: yoshida-n22e@mlit.go.jp



国土防災
イメージキャラクター
モリオくん



潮来市役所：液状化対策について先進事例を学ぶ



参議院議員会館101会議室：液状化対策について先進事例を学ぶ

富山市議会 自由民主党 視察行程表

日程 令和 6 年 5 月 7 日(火) ～ 8 日(水)

5月7日 (火)	JR新幹線かがやき502号 徒歩 5分 高速バス・関東鉄道バス 「鹿島神宮」行きか「鹿島セントラルホテル」行き タクシー 10分			
	富山駅	東京駅	東京駅前 (八重洲南口1番 乗り場)	水郷潮来バスターミ ナル
	7:22 発	9:32 着	10:00 発	11:20 着
5月8日 (水)	視察 タクシー 10分 JR新幹線はくたか565号			
	潮来市役所	水郷潮来バス ターミナル	東京駅前	ホテル
	13:30 着 ～ 15:30 発	15:55 発	17:35 着	17:50 着
	【視察項目】 液状化対策について 【宿泊ホテル】 京王プレッソイン大手町			
	視察 参議院会館 (地下101会議室) 9:30 ～ 11:00 13:24 発 15:54 着 【視察項目】 液状化対策について 講師:大臣官房参事官(宅地・盛土担当) 吉田 信博			
	ホテル	東京駅	富山駅	



がんばろう 潮来！！

①

今、心をひとつに

安心・安全なまちづくり

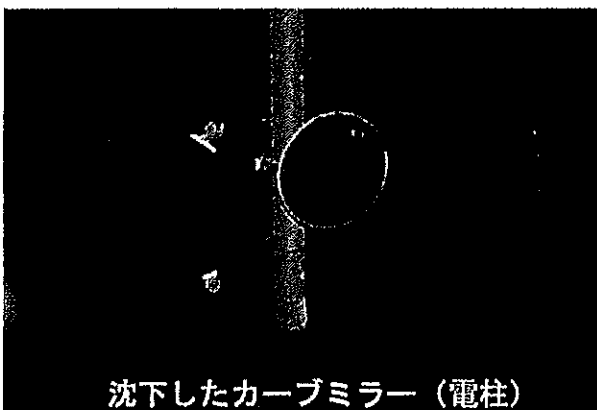
日の出地区災害復旧及び 液状化対策概要について



令和6年5月7日

1

2011/3/11 14:46 東北地方太平洋沖地震発生(M9.0)
15:15 茨城県沖地震発生(M7.7)



沈下したカーブミラー（電柱）



噴砂・噴水の瞬間



噴砂孔



路面の被災状況

2

災害復旧工事:下水道管の液状化対策 砕石によるマンホール・リブ管の埋め戻し

2

浮き上がったマンホール

マンホール

リブ管

砕石

対策

対策

災害復旧工事:下水道管の液状化対策 砕石によるマンホール・リブ管の埋め戻し

リブ管

砕石

D-19都市防災推進事業(市街地液状化対策事業)

事業概要

液状化により著しい被害を受けた地域の
再度災害の発生を抑制するため



道路・下水道等の公共施設と隣接宅地等
一体的な液状化対策の推進

13

D-19都市防災推進事業(市街地液状化対策事業)

補助要件

事業計画の区域内の宅地の所有権を有する
全ての者及び借地権を有する全ての者



3分の2以上の同意が必要

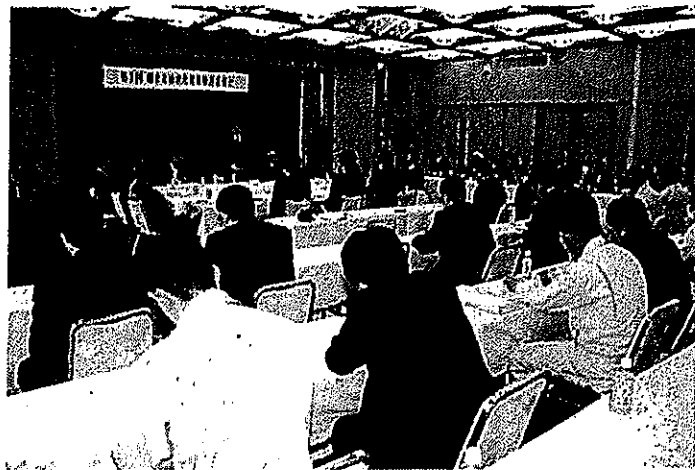
公共施設と宅地との一体的な
液状化対策

14

日の出地区液状化対策検討委員会

④

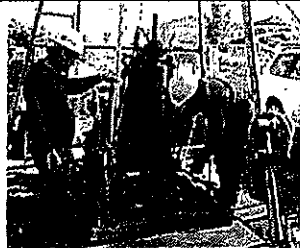
委員会等：6回開催
H25年3月5日答申



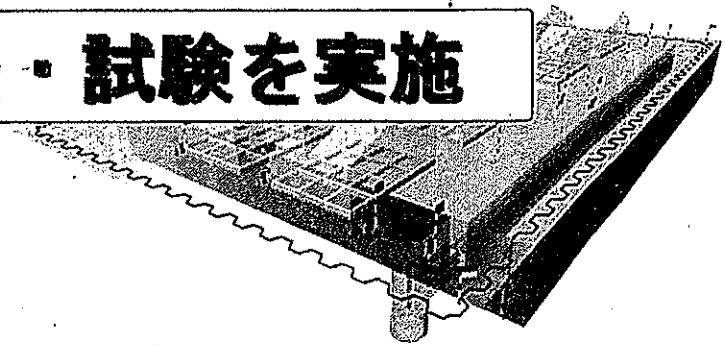
様々な調査・試験を実施



ブロックサンプリング



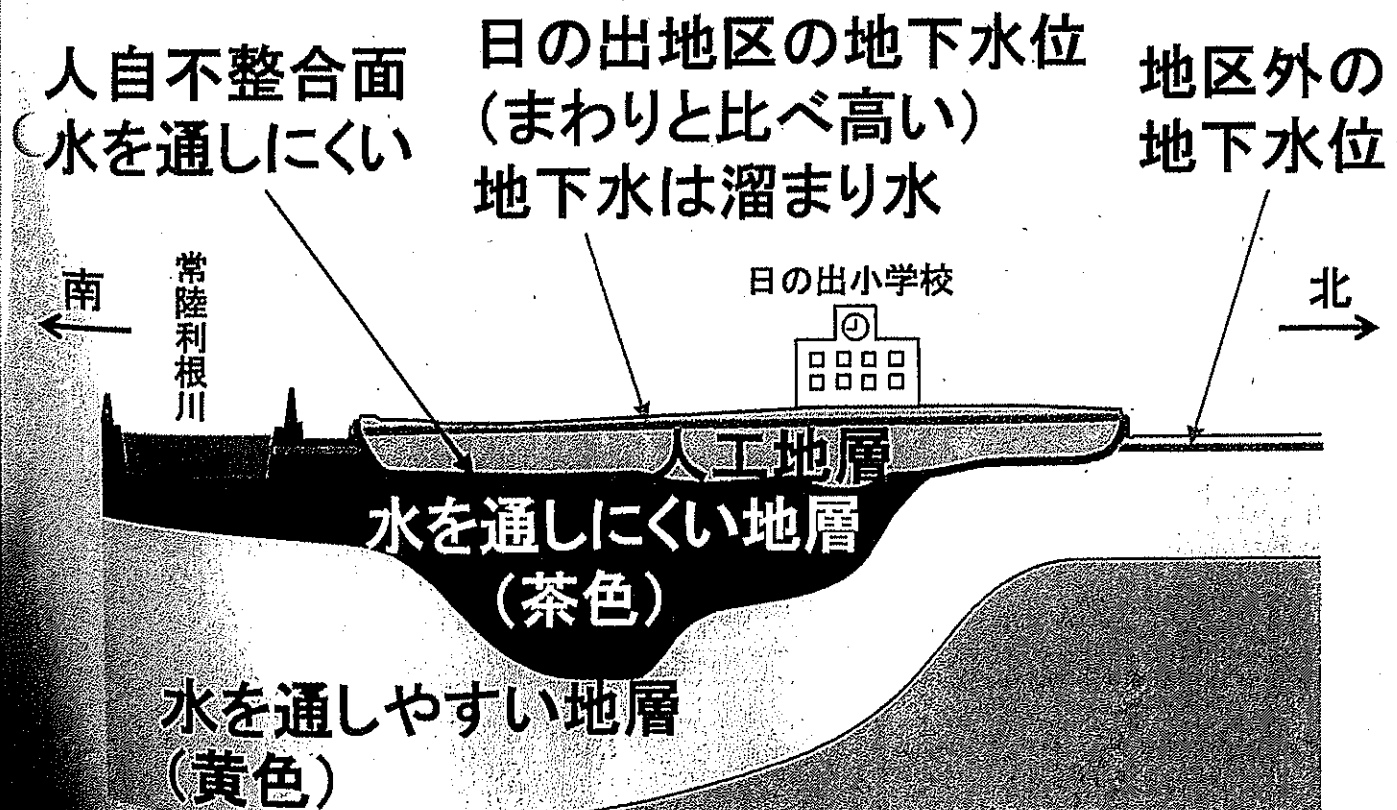
土質ボーリング調査



実証試験(日の出8丁目地内)

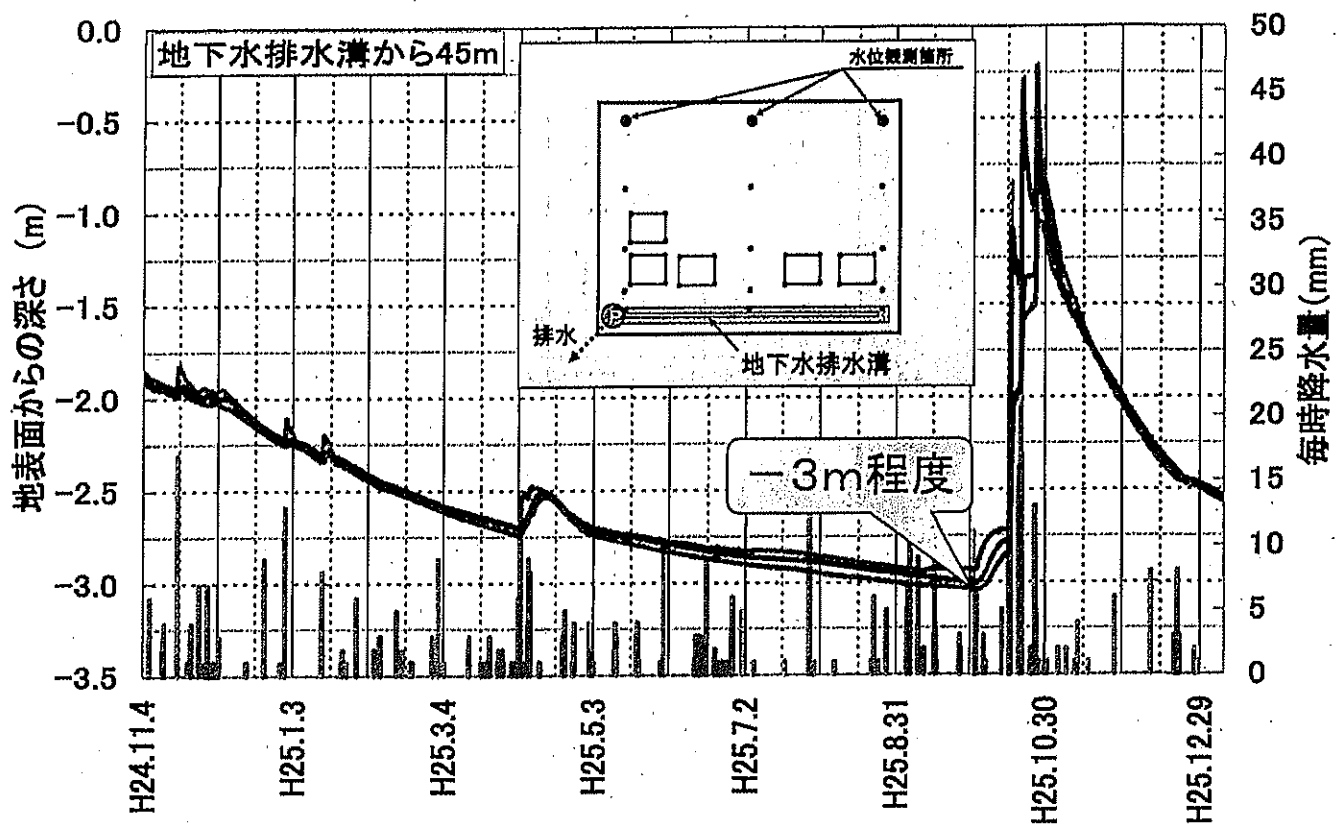
21

日の出地区の地層と地下水



22

○現場実験での地下水位の下がり方



32

地下水位低下工法採用

地面から5m程度は浚渫地の土砂で粒径の揃った砂の層で、かつ水を通しやすい

地質条件等が良く、民地への対策工事が不要

液状化対策工事の早期着手へ！

対策工事に係る地権者の個人負担が発生しない

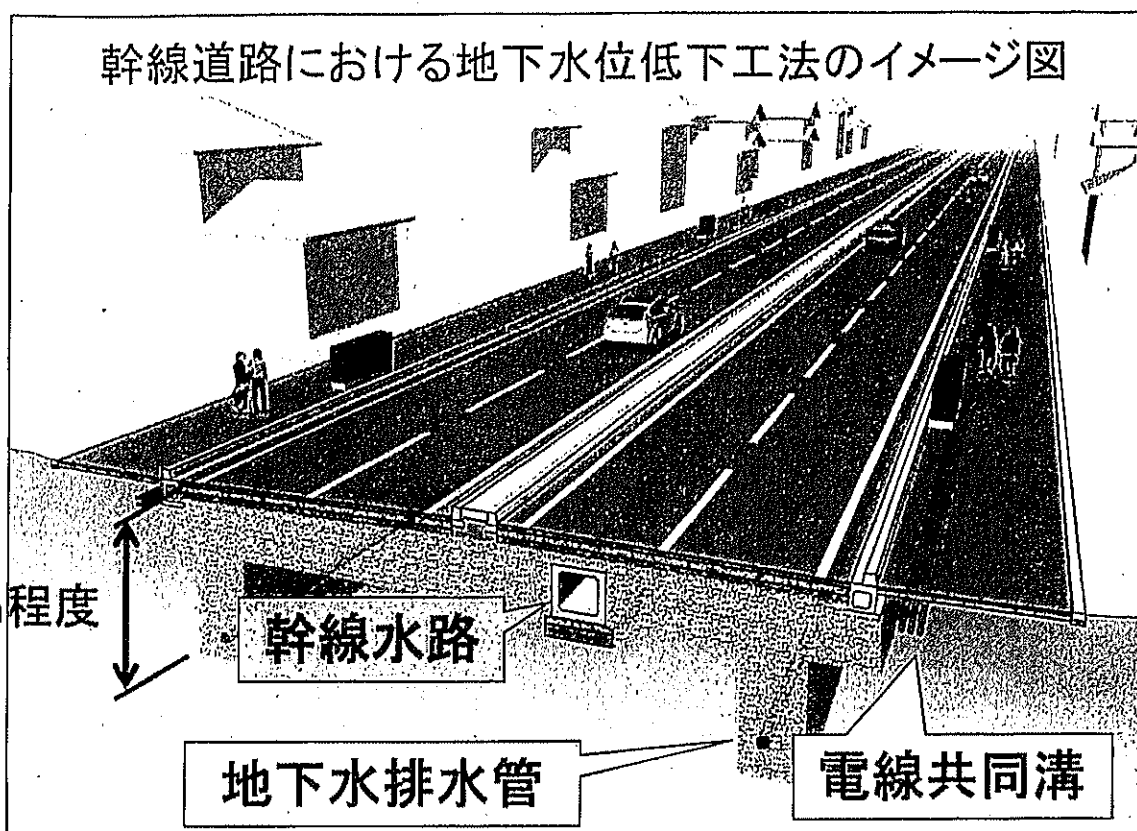
地権者の同意がとり

維持管理費の一部
のみ個人負担
(助成制度創設予定)

32

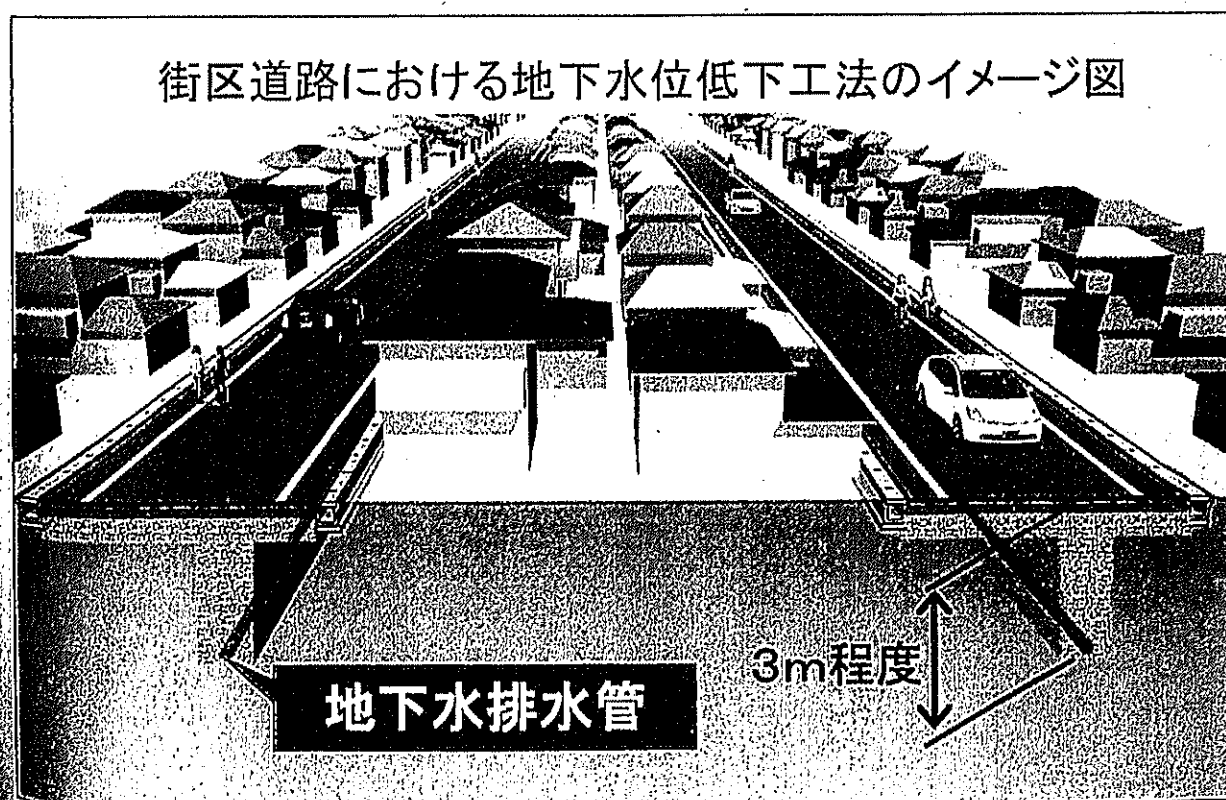
施工方法（幹線道路）

6



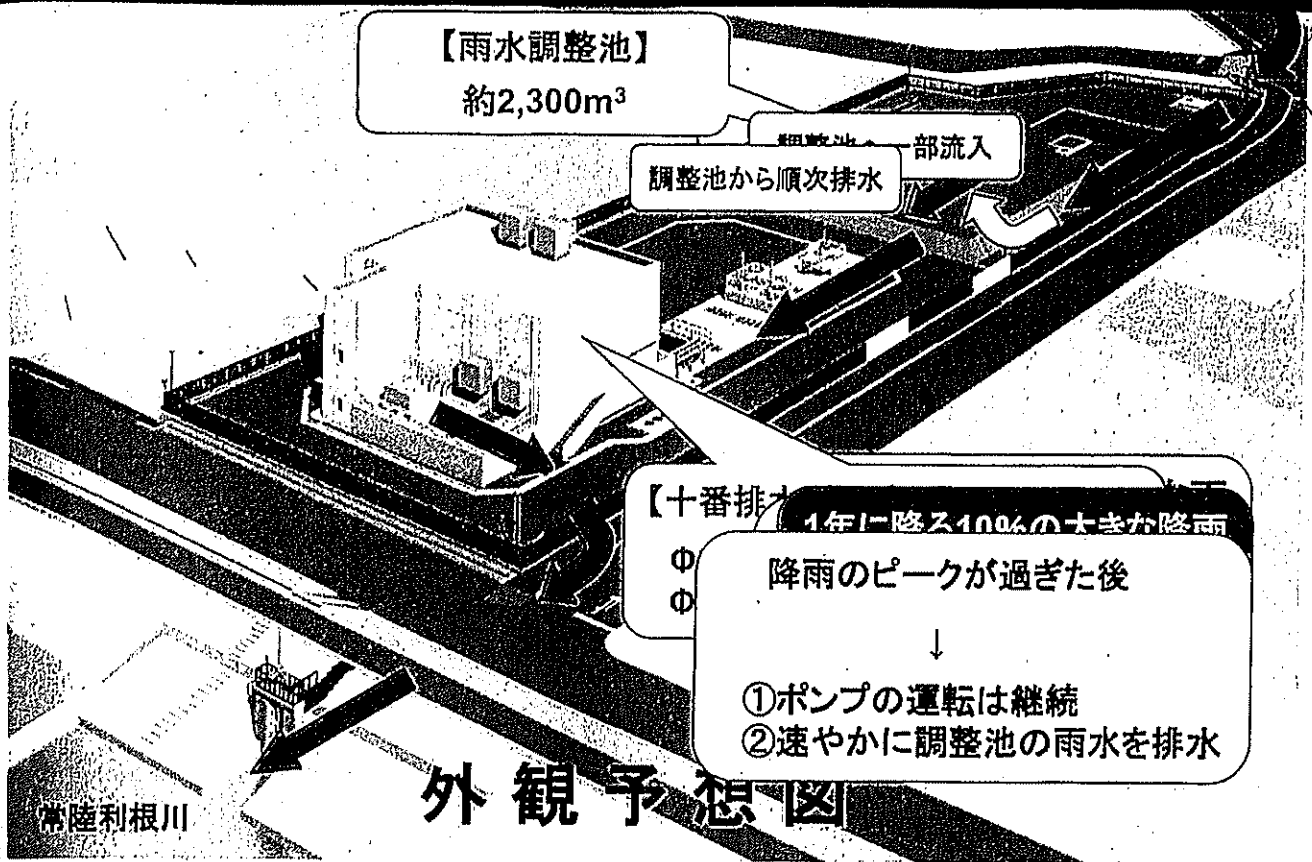
45

施工方法（街区道路）



46

十番排水ポンプ場・調整池



49

整備の効果

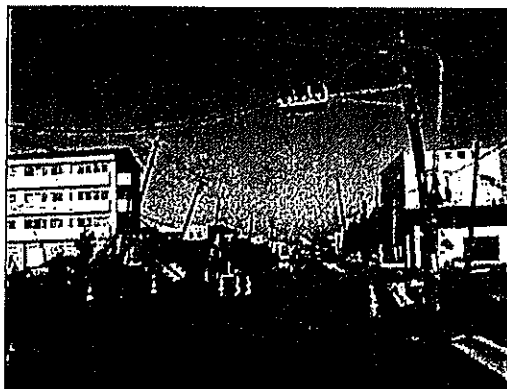
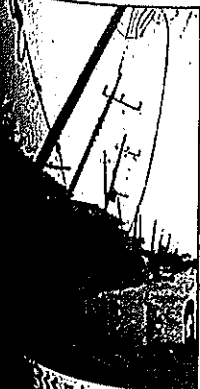
●液状化発生の抑制に加え、



- ・災害時緊急避難路・輸送路の確保
→幹線道路の電線を地中化
- ・豪雨時の浸水被害の排除
→地下水・雨水排水施設の整備



豪雨による冠水状況(震災前)



緊急車両の通行を障害

災害時、電柱の倒壊・電線の垂れ下がりにより緊急車両が通れなかった！

50

能登半島地震により被災した宅地の安全確保支援

液状化による被害を受けた建物・宅地の安全性確保を図るためには、面的な液状化対策と建物の耐震化を一体的に行うことが必須。そのため関係する事業が連携して総合的に取り組むことによりエリア一体となって宅地・住宅の安全の確保を推進する。

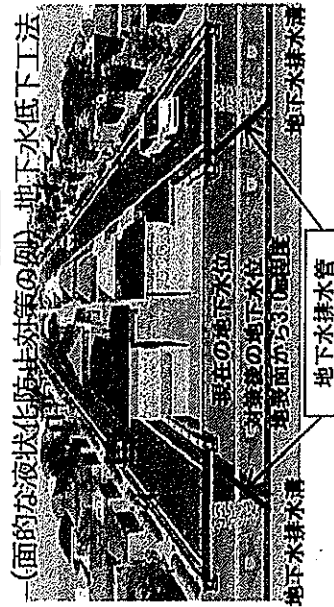


■液状化対策エリア外も含めた支援

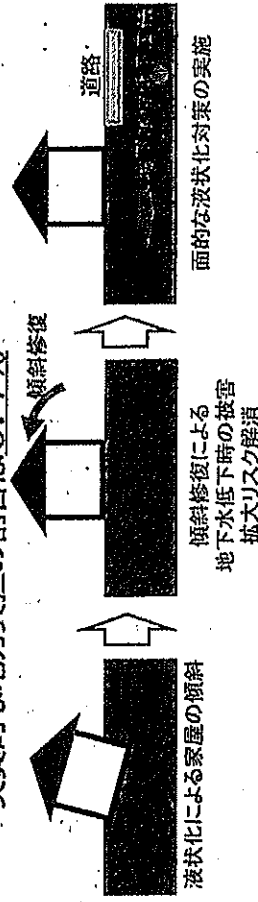
○建物の耐震化への支援【住宅・建築物安全ストック形成事業】
被災者が地方公共団体の支援を受けて行う、住宅の耐震化に対して、国・地方公共団体で120万円（多量区域の場合）を限度に支援
→ 地方負担分は特別交付税措置（措置率0.5）の対象
※補強設計等費及び耐震改修工事費（耐震改修に必要な住宅の傾斜修復を含む）を合算した額
※交付額は、補助対象工事費の8割を限度

■液状化対策エリア内の支援

○面的な液状化防止対策への支援【宅地液状化防止事業】
地方公共団体が行う、道路等の公共施設と宅地の一体的な液状化対策に対して、国が費用の1/2を支援（※通常は1/4）
※地方負担分は、補助災害復旧事業債（充当率100%、交付税措置率95%）の対象
→ 実質的な地方負担の割合は2.5%



○被災した地盤や基礎の復旧等への支援【効果促進事業】
被災者が地方公共団体の支援を受けて行う、宅地液状化防止事業の実施に支障となる被災した地盤や基礎の復旧等に対して、国・地方公共団体で費用の2/3以内を支援
※地方負担分は特別交付税措置（措置率0.8）の対象
→ 実質的な地方負担の割合は6.7%



宅地耐震化推進事業の概要（宅地の液状化防止）

○宅地の液状化による変動予測調査

宅地の大地震時等における液状化による変動予測に関する調査費用の一部を補助。

事業主体 地方公共団体
宅地所有者等（間接補助）



地盤調査

液状化しやすいマップ

○宅地液状化防止事業

宅地と一体的に行われる道路等の公共施設の液状化対策事業に要する費用の一部を補助。

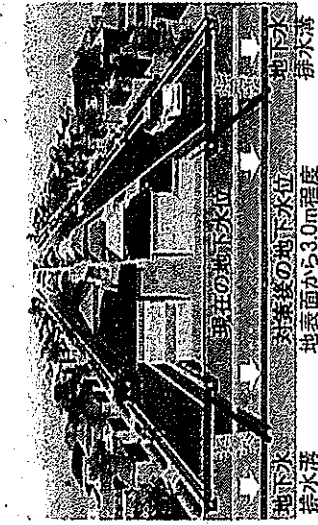
事業要件

- ① 当該宅地の液状化により、公共施設（道路、公園、下水道、河川、水路その他公共の用に供する施設をいう。）に被害が発生するおそれのあるもの
- ② 変動予測調査等により、液状化による顕著な被害の可能性が高いと判定された3,000㎡以上の一団の土地の区域であり、かつ、区域内の家屋が10戸以上であるもの
- ③ 公共施設と宅地との一体的な液状化対策が行われていると認められるもの

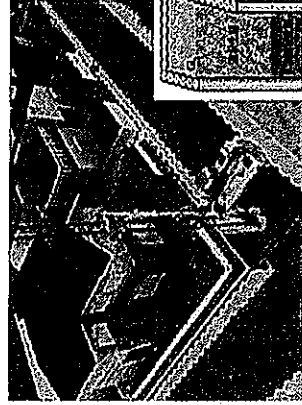
事業主体 地方公共団体、宅地所有者等（間接補助）

交付対象

設計費：液状化防止工事を行うための地盤等調査、設計にかかる費用
工事費：液状化防止工事（地盤改良工、締固工、固結工、変形抑制工、杭内工、排水・止水工、共通仮設工）に要する費用



地下水位低下工法

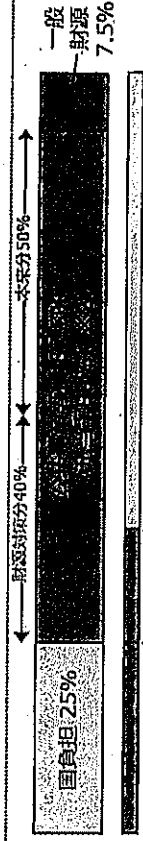


格子状地中壁工法

国費率 1/2 ※1（令和7年度まで）



国費率 1/4 ※1



- 国の実質負担分（40%） 地方負担分のうち元利償還金（財源対策分）の50%を交付税措置
- 地方の実質負担分（60%） 50%を交付税措置

国費率 1/2 ※1

立地適正化計画における防災指針に即して地方公共団体が事業主体として行うもの



- 国の実質負担分（60%） 地方負担分のうち元利償還金（財源対策分）の50%を交付税措置
- 地方の実質負担分（40%） 50%を交付税措置

国費率 1/2 ※1

熊本地震、北海道胆振東部地震又は能登半島地震により、被災を受けた宅地の復旧のため、地方公共団体が事業主体として行うもの



- 国の実質負担分（97.5%） 地方負担分のうち元利償還金の95%を交付税措置
- 地方の実質負担分（2.5%）

※1 予算の範囲内での支援 ※2 適宜性のあるものに限る

参考表 16-4 宅地の再度液状化防止工法（建屋既設条件での個別対策）の例

	建物直下の 層状締め工法	建物直下の 層状固化工法	建物周囲の 格子状改良工法	地下水位低下工法
模式図				
概要	・建物直下地盤を層状に締め固める方法 ・モルタルや流動化砂などポンプ圧送が可能な材料を使用し、これらを圧入することで周辺地盤を圧縮し密度増大を図る ・改良部分の剛性や地盤の密度の増加により、建物のめり込み沈下を軽減する ・小型機械使用により、建物内部からの施工、斜め施工も可能である	・建物直下地盤を層状に固化する工法 ・固化工材と地盤を攪拌混合して地盤の固結を図る（セメント混合処理が主体） ・地盤を固化して液状化を抑制し、剛性により建物のめり込み沈下を軽減する ・浸透注入は、建物内部や屋外から鉛直施工と斜め施工が可能 ・高圧噴射攪拌は、建物内部、建物周囲からの鉛直施工が可能	・地盤をセメント改良体等で格子状に囲み、地震時の地盤のせん断変形と液状化の発生を抑制する方法 ・セメント改良体は機械攪拌工法や高圧噴射攪拌工法で構築 ・円柱状の改良体をラップさせて格子状にする方法、壁状の改良体を連続で打設して格子状にする方法などがある。	・地下水位を強制的に低下させることにより、表層の不飽和層（非液状化層）を厚くし、地下水位以深の層についても拘束圧を増加させて液状化の発生を抑制する対策方法 ・建物下の不飽和層を厚くすることで、建物のめり込み沈下を軽減する。
留意点	・改良深さ、改良範囲の設定方法、改良部分の剛性の評価などの検討が必要 ・層状改良の下方の液状化層の影響に留意必要 ・密度増大に伴う周辺地盤および上部建物への変位影響に留意が必要	・改良深さや幅の設定方法、改良部分の剛性の評価などの検討が必要 ・層状改良の下方の液状化層の影響に留意必要 ・表層付近の浸透注入による改良では、上部建物への影響や口元からのリーク（材料の逸走）に留意が必要 ・長期的な耐久性のある浸透注入材料の選定が必要 ・薬液による土壌汚染への留意が必要 ・セメント系固化工法は六価クロム溶出確認が必要 ・排泥処理の方法や費用に留意が必要 ・改良体が固化するまでの施工本数や施工順序に留意が必要	・改良深さや改良範囲の設定方法、格子間隔や壁剛性の評価、壁の一体性などの検討が必要 ・下方地盤の液状化する場合は、過剰間隙水圧の伝播の影響が懸念 ・セメント系固化工法は六価クロム溶出確認が必要 ・ライフラインなどによる壁の不連続箇所が生じる場合がある。	・周囲への影響を防ぐため、矢板等による締め切りが必要 ・地盤の影響を大きく受けるため、事前に詳細な地盤調査を行い、地盤条件を把握した上で計画を立てる必要がある。 ・下層に軟弱な粘土層がある場合には、圧密沈下により建物やライフラインの不具合を招く恐れがあるので、事前に地下水位低下による地盤沈下の影響度合いを検討する必要がある。 ・地下水を汲み上げるための維持管理の費用、および汲上げた水の処理方法を検討する必要がある。
工法	圧入締め固め工法 静的締め固め砂杭工法	浸透注入工法 （薬液注入工法） 高圧噴射攪拌工法	格子状地盤改良工法 （高圧噴射攪拌工法）	ディーブウェル工法 排水溝工法

地盤改良

① 3m地盤改良
② 地盤3m以下下げる

① 6m
ゆるい砂層を
地下水で除く